

ひまわり第三者委員報告書

2021年9月23日

第三者委員 櫻井美智代

1, 利用者さんの風景（良かったこと、不満や要求を含めて）

- 子どものために買ってやりたいが、賛成するヘルパーと反対するヘルパーがいるので困る（グループホームで暮らす家族）。
- 作業中に自分が取ろうとしたものを、他の利用者さんが、横からスーと持っていってしまうので困る。
- 家ではお父さんに叱られるし、ひまわりでも良いことがない。
- 「独り言」を言うと、周囲の人がやかましいという。気分が悪かった。
- 楽しかったことは、友達と遊びに行ったこと、ソーセージを作ったこと。
- 嫌なこと
「ひまわりに来たくないこと」 本人
「やめてほしくないなー」 施設長
「やめたら寂しいよ、辞めたらあかん」 利用者仲間
「やめないほうがいい???' 本人
「うん、うん」 利用者仲間
「じゃ、やめないでおく」 本人ニッコリする
- ヘルパーの訪問時間が不規則で困る（独り暮らしの利用者さん）
- 相談しても変わらないので、相談してもしょうがない。
- 今、グループホームは快適。
(本人に合った環境になると、人間的成長は目に見えて素晴らしいものがあり、感動する)
- いつも胸に手を当てるしぐさの利用者さん。
(数年前、ひまわりに来たときは車椅子だったが、今は支えてもらえば歩ける。
身体的な回復は、人間の能力の無限性を感じさせる)

- 内職作業をしている。背中が痛くなると訴えるが、作業の手は止めない。
- グループホーム担当職員の金銭管理に不満がある。
- 少し調子が悪いとすぐ救急車を呼ぶ心配性の利用者さん。
- 利用者さんに、過剰な贈り物が続くので、利用者さんのお母さんが困惑している。

2, コロナで困ったこと

- 漫画喫茶にずっと行けない。
- ピープルファーストなどの大きな大会も地元でオンライン参加、寂しい。
- コロナなのでグループホーム夕食後のお茶碗は、自分で洗いたい。

参考 上記の困りごとは、時間がかかっても話し合いが持たれ、解決されたケースがほとんどです。

以上